学校番号	3033

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）古典講読	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「過程の演習 新国語問題集 第 56 集 古典編」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

共通テスト、国公立二次をはじめ、大学入試で出題される文章には、受験する学部に拘わらず、優れた文学作品が精選されている。この授業では、この数年間に大学入試で出題された作品を読みながら、古典を味わい、古典から学ぶ素養を磨くと同時に、古典の特徴的な表現技法やその効果について体系的に把握し、国公立二次に対応できる記述力を身に付けていく。学習においては、まず予習することを求める。二年間で、単語・文法をはじめとした知識・技能や、文脈を把握しながら読む力がどれだけ身についてきたかを確認したうえで授業に臨むことで、65 分間の授業をたいへん意義のあるものにすることができるだろう。また、記述問題を解く際に考えた過程や、わからなかったこと、新たに知ったことについては積極的にメモをしておくのをおすすめする。省みて、成長の跡が見えるノートづくりを目指してほしい。

2　学習の到達目標

⑴古典（古文・漢文）を正確に読む基礎的な能力を養うとともに、すぐれた作品の読解を通じて、古典についての理解や関心を深める。
⑵伝統的な文化として受け継がれてきた、ものの見方、感じ方、考え方に触れることによって、人生を豊かにする態度を育てる。
⑶古典を中心とした文化としての言語、多様な言語芸術や芸能などの価値を理解したり尊重したりすることにとどまることなく、自らが我が国の言語文化を継承、発展させていく担い手であることへの自覚を持つ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音読を通して文章のリズムを味わいながら古典を読み進めるなかで、古典文法や敬語の用法、古典常識や修辞法等の知識について理解し、的確に読み取る力を養う。	読解や記述の演習を通して、口語訳だけでなく物語の展開や登場人物の心情、作品の文学史的な位置づけ等を理解するなかで、先人のものの見方や考え方に触れ、作品そのものの魅力を深く読み味わう。	古典に関する知識や理解をもとに作品をより深く読み味わうことで、古典に親しみ、言葉を通して言語文化へ積極的に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	古文編① ・歴史物語の構成と内容、特色を理解する。 ［教材］ 「栄花物語」「大鏡」	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 b［読］必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：歴史物語に興味をもち、歴史と物語の違いについて、自分の考えをもとうとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古文編② ・和歌の技巧に対して理解を深める。 ・歌論と歌風を理解する。 ［教材］ 「古来風躰抄」「秋香歌かたり」「花月草子」	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：短歌や長歌などの和歌と比較し、歌謡の特性への理解を深め、味わい親しもうとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古文編③ ・日記における和歌を用いた表現の特色について理解する。 ・作者の境遇についての認識を深め、心情を読み取る。 ［教材］ 「中務内侍日記」「たまきはる」	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：日記に興味をもち、和歌をめぐる文章の構成や表現の特色について理解を深めようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
後期	漢文編① ・歴史書の読解を通じて、そこに示されている人間観や歴史観を知り、人生や運命について考えを深める。 ［教材］ 「漢書」「江表伝」(「資治通鑑」)	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：筆者の歴史観や人間観を理解し、歴史や人間についての考えを深めようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

	漢文編② ・物語の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞する。 ・中国の小説のジャンルとその歴史について理解する。 ［教材］ 「聊斎志異」	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：怪異譚や古来の民間伝承に興味を持ち、豊かに想像力を働かせることができる。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古文編④ ・説話の語り方の特徴を理解する。 ［教材］ 「撰集抄」「唐物語」「沙石集」「発心集」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：説話に興味をもち、語り手のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７５　）時間